



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和6年度 第4号

7月1日 児童数222名

人間市立宮寺小学校

人間市宮寺594-1 電話 2934-2014



校長 塩澤 栄一

きれいな心 ～多くの人に、多くの幸福を～ 塩澤 栄一

宮寺小学校 校長 塩澤 栄一

30数年前、教員採用試験を受験した際の面接で、「あなたは渋沢栄一さんと一字違いですね。」と聞かれました。元気よく「はい」と答えたものの、渋沢栄一さんをじゅうぶんに理解できていませんでした。ここ数年大河ドラマとなり、数々の番組で実践が紹介され、1万円札の肖像に。これは子供たちに伝えたいと思い、学びました。

1840年、血洗島村(今の深谷市)で農家の長男として生まれ、父に学び、藍を栽培し、藍玉をつくらると同時に、農家を回り、藍の買い付けにも励んだ。

20歳となったころ、江戸へ出て、徳川慶喜のもとへ。

米や木綿の売り方を変え、紙幣をつくった。

慶喜が将軍になり、慶喜の弟 昭武のお供でフランスへ。

洋服を着て、洋食を食べる。世界各国をまわり、髭を落とす。

侍の世は終わりと。

33歳、国を豊かにしようと経済人の道を歩き出す。

1873年、日本に第一国立銀行が発足。総監督となる。日本国民が豊かになれる道を探しているんだということに気づき、多くの会社を応援する。

61歳となり、商売は自分のことだけでなく、相手の利益を考えなければいけない。公の利益を大切にすると孫に伝える。70歳を前に引退をするが、次の挑戦を。

1932年、救護法が施行され、多くの人々が救われたが、その1年前、人々を救うために歩み続け、91歳で亡くなる。公の利益を追い求めた一生であった。



学びました！

多くの人々が幸せになるために歩み続けた渋沢栄一さん。一歩でも近づけるよう校長先生も学び続けますと、子供たちに伝えます。

校長の学び「今月の読書」



「この時間は算数の時間ですよ。まだ○を貰っていない人は違うことをしてはいけません。」と叱られてしまった。ということは、○を貰うために並んでいる時間は何もできないことになる。しかも困ったことに、算数の時間の大半はこの「並んで○つけ」の時間なのだ。算数のいろいろな考え方や解き方をみんなで考えれば、もっと面白いと思うのだけれども、解き方を真似するだけの時間になっている。できない子や分からない子もいるのに、そのままになっている。そうしたことを考えていくうちに、だんだんとノートを持って何もせずに並んでいるのが嫌になってきた。 「わがママを言ってみる」 猪鼻 幸正

自分の考えを友達に伝え、友達の考えを聞き、自分の考えを深める。学び合いを取り入れ、楽しい授業づくりを、全職員で進めています。